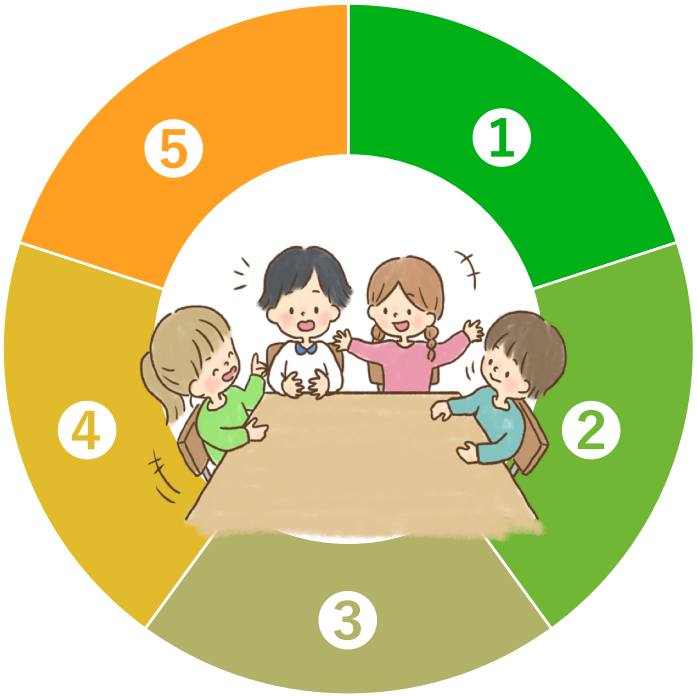
# 放課後等デイサービス
# わくわく学び塾 支援プログラム

放課後等デイサービス
わくわく学び塾

1. 健康・生活
2. 運動・感覚
3. 認知・行動
4. 言語・コミュニケーション
5. 人間関係・社会性




令和6年10月作成

# ① 健康・生活

**ねらい**

1. 健康状態の維持・改善
2. 生活リズムや生活習慣形成
3. 基本的生活スキルの獲得

- 通所時に検温と体調観察を行い、体調不良がないかの把握を行います。
- 自分の体調について意識付けをし、健康な心と体を維持し、健康で安全な生活が送れるようにします。
- 活動の中で運動を取り入れ、体力の維持および運動能力の向上、体作りを目指します。
- 身の回りを整理して、効率の良い生活を送るために必要な基本的技能を獲得できるようにします。
- タイミングや状況を理解できるよう、視覚化するなどわかりやすく構造化します。

# ② 運動・感覚

**ねらい**

1. 姿勢と運動・動作の向上
2. 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
3. 保有する感覚の総合的な活用

- 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動・動作の改善および習得ができる活動をします。
- 活動の中で、椅子や机を用い、正しい姿勢の習得をします。
- 状況を把握しやすいように、メガネ等の各種補助機器を安全に効果的に使用・活用できるようにします。
- 視覚、感覚、触覚等、感覚を十分に活用できるよう、遊具や器具を使った遊びをします。
- タイミングやバランスの感覚、体の動かし方や力加減、方向感覚の習得ができるような遊びをします。

# ③ 認知・行動

**ねらい**

1. 認知の発達と行動の習得
2. 空間・時間・数等の概念の形成
3. 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

- 個別活動や集団活動の中で、活動内容の情報を取得しやすいよう絵カードやルール表を用いて視覚化するなどし、行動につなげられるようにします。
- 物の機能や属性、数量、大小、色、空間や時間などの概念を形成する活動を取り入れ、行動の手がかりとして活用できるようにします。
- 1人1人の認知の特性に配慮し、絵カードやスケジュール表などを用いて自分に入ってくる情報を処理し、安全に適切に行動できるようにします。
- おやつの提供やお昼づくり、おやつ作りを通して、楽しみながらこだわりや偏食に対する支援を行います。

# ④ 言語・コミュニケーション

**ねらい**

1. 言語の形成と活用
2. 言語の受容及び表出
3. コミュニケーションの基礎的能力の向上
4. コミュニケーション手段の選択と活用

- SST等の中で発表の機会を設けます。発表場面を設けることで、具体的な体験や言葉の意味付けを行い、言葉の習得、自発的な発言を促します。
- 自分の考えを伝えたり、人の意見を聞き入れて相手の意図を理解するなど、人との相互作用によるコミュニケーション能力を獲得できるようにします。
- 宿題支援、個別課題等で1人1人に合わせた支援用の教材、知育玩具を用います。
- 集団活動や遊びの中で、意思伝達的要素（ジェスチャーゲーム等）を取り入れ、意思の伝達が円滑にできるようにします。

# ⑤ 人間関係・社会性

**ねらい**

1. 他者との関わりの形成
2. 自己理解と行動の調整
3. 仲間づくりと集団への参加

- 話す、聞く、触れる等のコミュニケーションを通して、人との関係を意識し、身近な人との関係を築き、周囲の人と安定した関係を形成できるようにします。
- 自分の出来る事と出来ない事や自分の行動の特徴を理解し、気持ちや感情の表出や調整ができるように、声掛け支援、行動支援を行います。
- 相手の気持ちや状況などを理解する話し合いや声かけを行い、集団の中で良好な関係が築けるようにします。
- 安心して集団活動に参加できるように1人1人に合わせた方法で参加を促します。

# 余暇活動の充実

**ねらい**

1. 心や身体の健康の維持・向上
2. 生活の質の向上
3. 自己表現やコミュニケーションの促進

- 工作などの創作活動や、お料理、畑での野菜の栽培や販売活動、ボーリングやプラネタリウム等、様々な活動プログラムを用意します。これらの活動から、新たな趣味や興味、才能を見出すきっかけを作ります。
- 自分の好きなことや得意なことから、自己肯定感を高めるとともに自分自身をリラックスさせ、ストレスを軽減させる方法を習得することにつなげます。
- 活動を通じて、自立心が芽生え、社会的スキル、生活スキルの向上につなげます。
- すべての活動は楽しく、ゆったりした気持ちで行えるよう、また、子どもたちが選択したり決定できるよう配慮します。
- グループでの活動を通して、他者との交流を図り、良好な人間関係を築きます。

# 移行支援

**ねらい**

1. 学校等への配慮された移行支援
2. 移行先の学校等との連携
3. 同年代の子どもとの仲間作り

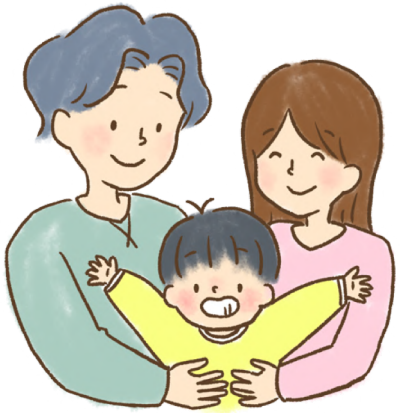
- 将来的な移行を見据えた支援目標をお子さん、ご家族と一緒に設定し、それに合わせた内容で支援します。
- 中学校入学に向け、支援内容の共有、受け入れ体制づくりへの協力を行います。
- 学校や学童、事業所等と情報を共有し、支援内容のすり合わせをしながらお子さんの学校生活の充実、仲間づくりができるように支援します。

# 家族支援

**ねらい**

1. 家族からの相談に対する適切な助言
   アタッチメント形成等への支援
2. 家庭の子育て環境の整備
3. 関係者・関係機関との連携による支援

- ご利用ごとに、お子さんの様子をお伝えし保護者の方との情報交換を密に行います。
- 子育てに関する困りごとへの相談援助を行い、安心して子育てができるようにします。
- 子供の発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講演会、研修会、保護者同士の交流会の提供をします。



# 地域支援・地域連携

**ねらい**

1. 地域における連携の一端としての役割
2. 地域の子育て環境の構築
3. 地域の支援体制の構築

- 学校との連携や調整、支援方法や環境調整の相談援助を行います。
- 市町村関係者、医療機関、児童相談所、相談支援事業所、他事業所等との生活支援や発達支援の連携を図ります。
- 放課後等デイサービス等に対する理解促進のため、地域集会等へ参加するとともに、地域交流の機会が提供できるよう、具体的な方法を市町村関係者と検討します。